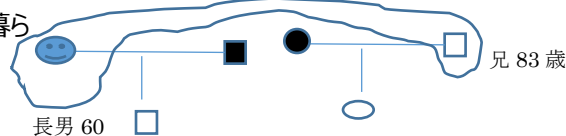


Uさんの事例:5,6項目青について、表1, 2を利用し記入してみてください 【受講番号】 【氏名】

1	基本情報	受付日	初回受付：R2年5月10日・今回受付日：令和3年5月20日
		担当者	風野 村子 ケアマネ
		氏名（性別）	U様（女性）
		年齢	80歳
		住所	〇市〇町1-1-10
	その他	兄と2人暮らし	
2	生活状況	生活歴と現状	<p>初回時の長男からの聞き取り：幼少時代は活発な少女だった。長男も18歳から家を出て九州に暮らしていたため、両親の詳しい生活はわからないが、70歳を過ぎたころから兄との口論するようになった。74歳の時買い物に出かけ転倒し右上腕骨折し町立病院に入院した。しかし看護師を殴る行為があったため、脳外科で検査を行った結果、前頭葉型脳梗塞と認知症と診断され入院した。退院後は下肢筋力の低下、日常生活行為ができないなどにより、民生委員より紹介があり事業所相談に訪れた。</p> <p>今回の状況：兄は膀胱がん手術後1か月でほぼ寝たり起きたりの生活をして要介護3の状況。本人は最近深夜に大声で独語があり医師によりクエチアピン処方された。起立時のふらつきがあり、転倒することがある。以前から知らない者（新しいヘルパーやデイサービス職員）が来ると、攻撃的になり、大声で怒鳴ることがあった。兄からの相談。</p> <p>今後のケアプランの考案が必要。</p>
		家族状況	<p>兄83歳と2人暮らし</p>  <p>長男60</p> <p>兄83歳</p> <p>長男は鹿児島で妻の両親の介護を行っている</p>
3	被保険者情報	<p>国民健康保険（家族）</p> <p>介護認定：要介護3</p> <p>介護保険サービス利用：訪問介護毎日1時間</p> <p>：通院時はヘルパー送迎</p> <p>：デイサービス週2回（火曜日・金曜日）</p>	
4	医療	<p>・近所の内科F医師より以下の内服薬処方：3月に1回通院</p> <p>ノルバスク5mg（5mg）/1日1回服用</p> <p>アリセプト10mg（5mg）/1日1回服用</p> <p>メモリー15mg（5mg）/1日1回服用</p> <p>クエチアピン錠200mg「アメル」/1日2回（1回量100mg）</p> <p>AM散3P/1日3回分散1回1P</p> <p>ハーネシップ20枚/1日1回1回2枚貼付</p> <p>・デイサービス2回/火曜日・金曜日（体調管理、入浴介助）</p> <p>・訪問診療は行っていない。3月に1回の診察は訪問介護と一緒にしている。</p>	
5	障害高齢者の日常生活自立度		
6	認知症高齢者の日常生活自立度	（本来は意見書から転記します）	

7	主訴	相談者	初回：長男・民生委員 今回：兄
		相談内容	脳梗塞後遺症であり、同居兄も要介護 3 であるうえ、本人の病状が進行しているのか興奮状態がありケアの提供が難しい。安全を確保してほしい。
		家族	長男は、九州で妻の家族を介護している状況で〇町に戻れない。伯父と母をお願いしたい。
8	健康状態	病名	① 高血圧症 ② 前頭葉型脳梗塞後遺症・認知症
		主治医	① 近所の内科医師 F
9	ADL	<p>麻痺等：なし</p> <p>寝返り：行うことができる</p> <p>座位保持：座位を保つことができるがじっとしてられない多動</p> <p>立位：可能だが起立時のふらつきがある</p> <p>移動：室内は自ら移動可能。外出も時々裸足で出かけ近所の人が連れ戻すことがある</p> <p>更衣：ヘルパーが介助することが多くなった（介護抵抗も強い）</p> <p>入浴：全介助（介護抵抗が強く清拭の時もある）</p> <p>食事：食欲は強くあり、煮物などをドンブリで置いておくと手ですべて一気に食べる行為がある。</p> <p>排泄：尿意はあり自らトイレに行くこともあるが、促されていくと失禁していることもある。便意があるとテレビの後ろに入りりハビリパンツに排便する。</p>	
10	IADL	<p>調理・掃除：70 歳くらいまでは家事を行っていた</p> <p>買い物：買い物かごをもって裸足で出かけ近所の人が送り届けられることがある。近所のスーパーマーケットのレジではお金を持っていないでトラブルになり、店長が家に電話をかけてくることもある</p> <p>金銭管理：布団の下や台所のロッカーに小銭がたまっていることがあり、財布が見当たらない。ヘルパーに「財布を返してほしい。盗まれた」などの訴えがある。銀行へは行くことができないため、長男がヘルパーさんに振り込みをして食材を購入している</p> <p>服薬管理：服用は全介助。抵抗が大きい。ヘルパーが食事に混ぜるなどの工夫をしている。</p> <p>電話利用：4 年前くらいは、電話で対応できたが、その後は電話が鳴ると興奮して電話を投げるため、電話音量を下げている</p>	
11	コミュニケーション能力	<p>独語をつぶやいていることがある。</p> <p>いつも来るヘルパーには、困りごとを相談することがある。状態が良いと兄に話しかけたり、兄の質問に答えたりする。</p>	
12	社会とのつながり	近所では、なじみの関係があり、裸足で出ているときは、連れてきてくれたり、惣菜を届けてくれるなどの関係は保っている。	
13	排尿・排便	尿意はあり自らトイレに行くこともあるが、促されていくと失禁していることもある。便意があるとテレビの後ろに入りりハビリパンツに排便する。	
14	褥瘡・皮膚	褥瘡なし、前腕部や下肢にうちみ跡がある。日常的に転倒打撲がある様子	
15	口腔清掃	顔周囲に触れられるのを極端に嫌うため、口腔清潔は、兄とヘルパーのいる時に行う	
16	特別な状況	病状の急激な変化	
17	周辺資源	図 1	

図1

